

出演アーティスト



朗読・企画・構成・脚本・制作
戸丸 彰子 (とまる・あきこ)

朗読家・フリーアナウンサー。東京国立博物館ホールや奈良平城宮跡での朗読公演、ホテルでの朗読ディナーショーなど、全国各地で自身の企画演出による公演を続ける。レパートリーは古典文学から近・現代作品まで幅広い。金沢を拠点に「朗読ユニット音がたり」を立ち上げ、ピアノ、チェロ、横笛やおりんなど和・洋音楽や、バレエや花洒けといった他分野とのコラボレーションなど、常に新しい朗読ライブ舞台に挑戦している。



ピアノ
鶴見 彩 (つるみ・あや)

金沢市出身。東京藝術大学音楽学部卒業、同大学院修士課程修了。ロームミュージックファンデーション、DAADドイツ政府給費奨学生としてカールスルーエ音楽大学大学院に留学、最優秀の成績で修了。国家演奏家資格取得。これまでに、ソリストとしてオーケストラ・アンサンブル金沢、ポーランド国立放送交響楽団等と共演する他、ソロや室内楽で多くの演奏会に出演している。2016年度石川県文化奨励賞、第13回岩城宏之音楽賞受賞。



囃子
望月 太満衛 (もちづき・たまえ)

金沢市出身。幼少より祖母 杵屋喜澄(望月太以)、母 杵屋喜三以満(望月太満)の手習いを受け、長唄を人間国宝 十五代杵屋喜三郎、囃子を十二代目望月太左衛門に師事。2011年 東京藝術大学音楽学部邦楽科邦楽囃子専攻卒業。現在は金沢を拠点とし東京をはじめ全国各地で古典を中心に演奏活動を行う。また、異なるジャンルとのコラボレーションにも積極的に取り組む。



コントラバス
Danielis Rubinas
(ダニエリス・ルビナス)

リトアニア出身。1998年～2012年クレメラータ・バルティカ室内交響楽団首席コントラバス奏者を経て、2018年よりオーケストラ・アンサンブル金沢正規首席コントラバス奏者として活躍中。様々なオーケストラで首席コントラバス奏者として世界50カ国以上で演奏。ギドン・クレーメル、マリオ・ブルネッロ、樫本大進らと室内交響楽アンサンブルで共演。



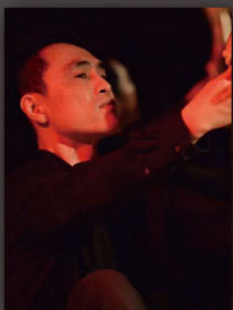
ギター
北山 功二 (きたやま・こうじ)

2002年 avex からメジャーデビュー。2004年からMI Japan 音楽学校の講師。YAMAHAの認定講師としても活動。その後様々なアーティストの楽曲へのギターレコーディング、アレンジに参加。2022年からYouTube【縁JOY Music】をスタート。ギターを中心とした音楽にまつわるコンテンツを作成し、現在までに4500人程の登録者を獲得。現在も精力的に活動している。



コンテンポラリーダンス
北井 千都代 (きたい・ちづよ)

東京を拠点にして数多くの作家の作品に出演。文化庁派遣芸術家在外研修員としてパリで1年間学んだ後、地元金沢に戻り後進の指導の傍ら自らの活動を続け、言葉に出来ない事を身体で表現する可能性を追求している。自らプロデュースするダンス公演danceExistを継続、異分野のアーティストとのコラボレーション等活動を続けている。現代舞踊協会制定新人賞、ベストダンサー賞。ダンスドライブ・ゼロ主宰 dancedrivezero.com



人形パフォーマンス
伊藤 拓次 (いとう・たくじ)

富山県在住。Puppet Dance Theater Laatikko 主宰。1998～2000年、ダンサーとしてFinlandのDance Theater Raatikko に所属。帰国後、新国立劇場などでコンテンポラリーダンスの振り付け、上演を行う。「見渡す限り無限しか見えない」で愛知県人形劇センター P 新人賞 2019「観客賞」受賞。ビエンナーレ富山 2023、いいた人形劇フェスティバル 2023で人形のダンス作品「たゆたひ」を上演。



髪の毛書道パフォーマンス
馬ト鹿 (うまとしか)

自由作家・書道家の阿字池あつこ(馬)と、アートディレクター・デザイナーの大谷友里(鹿)によるユニット。一人一画、どこを書いてもいいフリースタイル。書く文字からインスピレーションを受けた独自の演出で、オーディエンスを異世界に誘う。筆はもちろん自毛。本物の墨ではなくフィンガーペイントを薄めて使用。トリートメントの差し入れ大歓迎。

